

佐藤 信也 (さとう しんや)

山口県 生まれ

下松高校卒業 (山口県)

長崎大学医学部卒業 (弓道部)



自分で診断した白血病の患者さんが、自分で行った化学療法で寛解に入った時が最も嬉しいですね。

(1) 原研内科に入局した理由はなんですか？

白血病を中心とした血液の癌を治すことに興味があったからです。

(2) 山口県出身の佐藤先生が長崎大学に残ったきっかけは何ですか？

被爆医療にも貢献したいと思い、被爆地である長崎大学を選びました。実際にヒバクシャの健診やヒバクシャに生じる血液疾患の研究に携わることができて、目標とした血液内科医に近づいていると感じています。

(3) 佐藤先生にとって血液内科として最も嬉しいことはなんですか？

血液内科は診断から治療までが、単一の診療科で完結できることが魅力の一つです。自分で診断した白血病の患者さんが、自分で行った化学療法で寛解に入った時が最も嬉しいですね。

(4) 佐藤先生が休日にされるリフレッシュの方法はなんですか？

子供と近所を散歩することです。  
子供の笑顔を見ると、「明日も仕事を頑張ろう」と思えます。

(5) 血液内科を志す若い医師・医学部生にメッセージをお願いします。

血液内科医の仕事は忙しい中でも充実しています。  
自分たちで診断から治療までを完結できるということ、治療を意識しながらの診断ができるということは、臨床医として楽しいです。  
また、基礎研究とも近い分野でもあり、臨床医としての幅を広げてくれる診療科であると思います。